

STOP! 温暖化 NO!レジ袋 レジ袋削減市民総決起大会



◀レジ袋削減に向けた取り組みに関する協定を締結した事業者 (2月14日 ビッグハート出雲)

■ レジ袋削減に向けた取り組みに関する協定 ■

事業者・市民団体・出雲市の3者で協定を結び、レジ袋の削減に向け、次の協定事項に取り組んでいきます。

- (1) 事業者は、平成21年4月からマイバッグ持参運動の推進及びレジ袋削減の啓発活動を行い、同年7月1日からレジ袋の無料配布を中止する。
- (2) 事業者は、レジ袋使用枚数及び削減の取り組み状況やマイバッグ持参率を定期的に市に報告する。
- (3) 事業者は、レジ袋の収益金を環境保全活動や地域貢献活動に使用し、その内容を市に報告する。
- (4) 市民団体(出雲市環境保全連合会)は、事業者のレジ袋の削減、無料配布の中止の取り組みを支援し、マイバッグ等の持参によるレジ袋削減運動を拡大する。
- (5) 市は、事業者の取り組みを支援するとともにその効果や課題を評価・公表し本活動を拡大する。

レジ袋削減の取り組みに関する協定締結事業者と店舗

7月1日からレジ袋の無料配布が中止される店舗一覧(2月14日現在)

このたびの協定は、市内で店舗面積1000㎡以上で食品を扱う小売店(店舗)です。



事業者	店舗名
イオンリテール(株)西日本カンパニー	ジャスコ出雲店
(有)いしかわ	ファミリーストアいしかわ高岡店
(株)イズミ	ゆめタウン出雲、イズミ神西店
(協)出雲ショッピングセンター	デパートパラオ
いずも農業協同組合	J Aいずもラピタ本店、ラピタはまやま店 ラピタみなみ店、ラピタひらた店 ラピタ佐田店、ラピタ多伎店、ラピタ湖陵店 ラピタ大社店
(株)ウシオ	グッディー医大通店、グッディー北部店 グッディー上成店、グッディー平田店
(株)小田商店	生鮮食品おだ出雲店
(協)大社ショッピングセンター	ショッピングタウン エル
(株)フーズマーケットホック	ホック塩冶店、ホック平田店
(株)マルマン	マルマン大社店

※レジ袋削減に参加していただける事業者・店舗を今後市のホームページなどで募集します。

(50音順)

レジ袋削減に向けた取り組みに / 資源リサイクル課 (☎21-6988) に関するおたすね

レジ袋を削減し 環境にやさしいまちづくりの実現

7月1日から
レジ袋の無料配布を
取り止めます。

市では、二酸化炭素(CO₂)の削減とごみの減量化により、温暖化防止等地球環境の保全を図るため、事業者・市民団体・市が協働してレジ袋の無料配布の中止やマイバッグ持参運動の推進など、レジ袋の削減に取り組まします。7月1日からは協定を結んだ事業者の店舗でレジ袋の無料配布が中止となります。
今回は、その取り組みについてお知らせします。



▲「私が作ったマイバッグコンテスト」で46作品の応募があり、デザイン性、機能性など工夫を凝らしたマイバッグがたくさん寄せられました

◆取り組みの基本的な考え方

地球温暖化防止については、さまざまな取り組みが全国的に展開されています。レジ袋を使用しないこともその一つです。
レジ袋削減に関するアンケート(下表のとおり)を市民と事業者を対象に実施したところ、市民にとって毎日の生活の中で手軽に利用しているレジ袋は、環境や資源への影響など、その削減に対する意識が高いこと、また、事業者もエコ活動の取り組みの中で、その削減が大きな課題だと認識していることがわかりました。
これを受け、市ではレジ袋削減について、事業者・市民団体などと協議を重ね、本年4月から本格的にレジ袋を減らす取り組みを行うことを確認しました。2月14日には、「レジ袋削減市民総決起大会」を行い、参加事業者、市民団体、協力団体(各商工会議所)、環境団体などが出席し、レジ袋削減に向けた取り組みに関する協定が締結されました。
地球温暖化防止など環境問題を解決するためには、市民一人一人の理解と取り組みが不可欠です。買い物にはマイバッグやマイバスケットなどを持参し、身近なことからごみ減量や地球温暖化対策に取り組みましょう。

◆どうしてレジ袋の無料配布が中止されるの? *

日本国内では、年間約300億枚(1人1日約1枚)のレジ袋が使用されています。
市では、年間1世帯あたり約870枚、全体ではおよそ4,324万枚のレジ袋が使用されています。レジ袋を製造するためには必要な原油に換算すると、ドラム缶4,021本分が使われており、日本全体でいうと、原油輸入量の1日分に近い量が必要といわれています。また、レジ袋を製造したり、ごみとして焼却したりするときにはCO₂が排出されており、地球温暖化の原因の一つにもなっています。
そこで、資源の節約とごみの削減、CO₂の削減のために、買い物の際にレジ袋を使わない運動を展開し、協定締結事業者の店舗では7月1日からレジ袋無料配布の中止を行うことになりました。

レジ袋に関するアンケート

(平成20年8月実施)

■市民アンケート

買い物袋を持参し、レジ袋過剰包装を断る配布数:1000 回収率:41.1%

常に実施している	39%	} 95%が実施または今後実施したい
時々実施している	34%	
今後実施したい	22%	
実施する気はない	5%	
無回答	0%	

■事業所アンケート

レジ袋の削減の賛否
対象:31店舗 回収率:90.3%

必要	78%
どちらかといえば必要	11%
どちらともいえない	11%